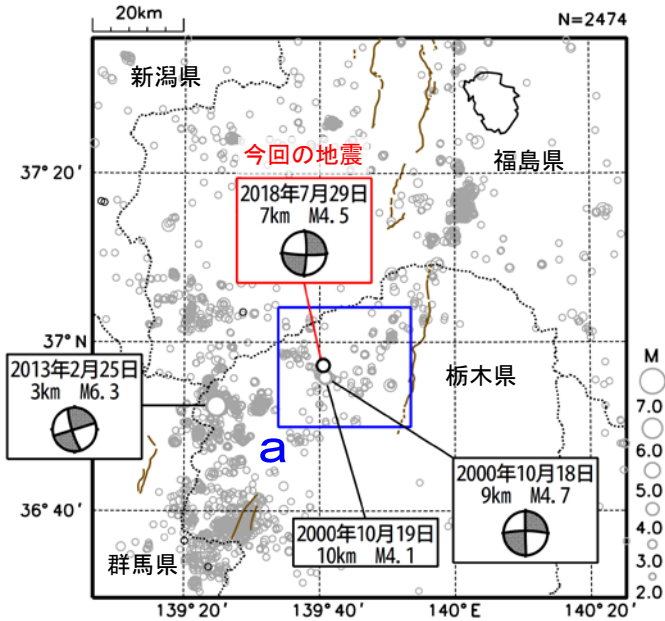


7月29日 栃木県北部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
2018年7月以降の地震を濃く表示

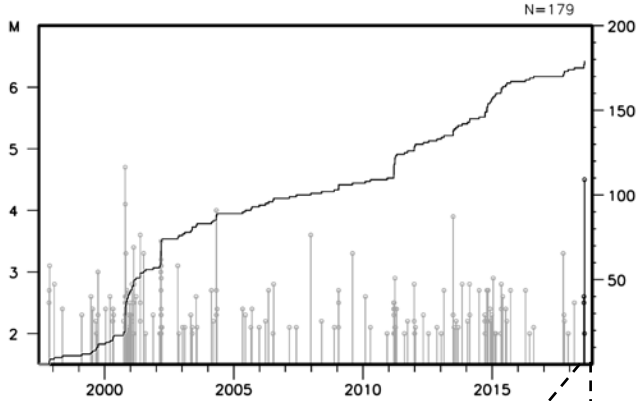


2018年7月29日09時58分に栃木県北部の深さ7kmでM4.5の地震(最大震度3)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の発生以降、一時的にややまとまった地震活動がみられた。

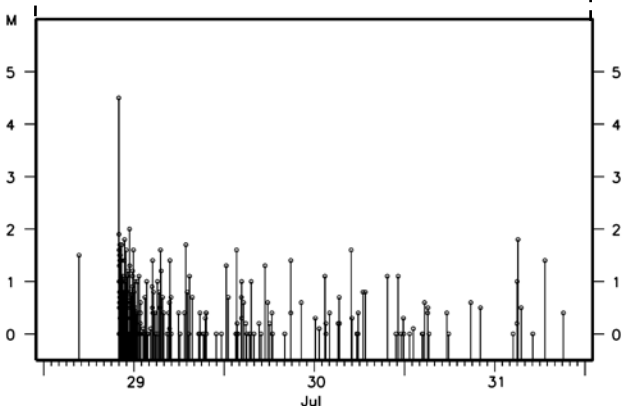
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、ややまとまった地震活動が時々みられており、2000年には、10月18日にM4.7の地震、翌19日にM4.1の地震(いずれも最大震度4)が発生した。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域b)では、M6.0以上の地震が3回発生している。最近では、2013年2月25日にM6.3の地震(最大震度5強)が発生した。また、1949年12月26日には、08時17分と08時24分にそれぞれM6.2とM6.4の地震が短い時間で連続して発生し(今市地震)、死者10人、負傷者163人、住家全壊290棟、非住家全壊618棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



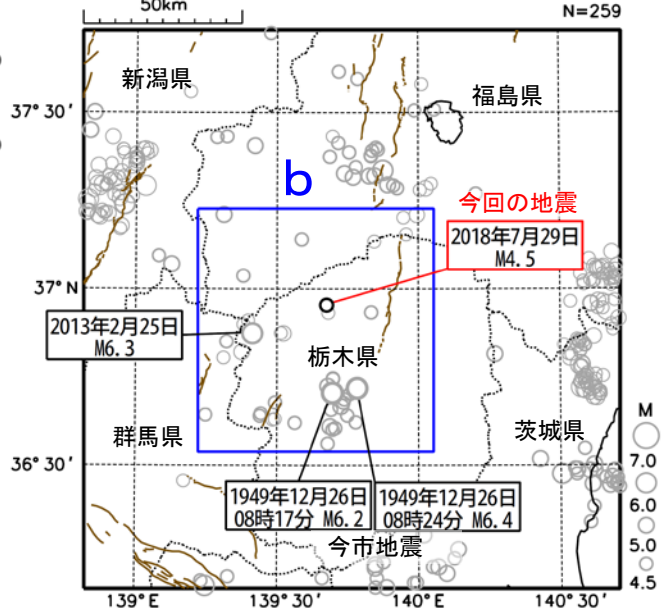
領域a内のM-T図 (2018年7月29日～31日、M全て)



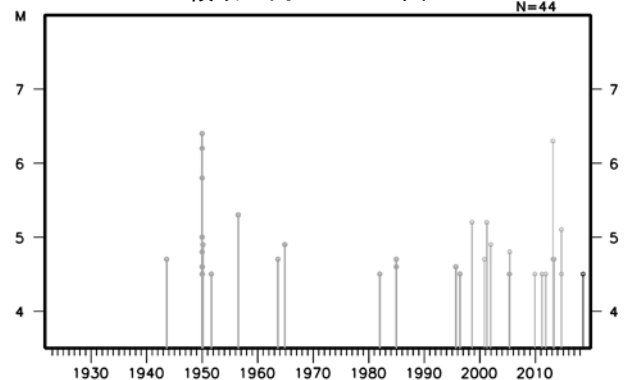
震央分布図

(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.5$)

2018年7月以降の地震を濃く表示



領域b内のM-T図



震央分布図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。